

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：奥村 康博

事業名：一般国道298号東 京外かく環状道路 （千葉県区間）	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 関東地方整備局	
起終点：自：千葉県松戸市小山 至：千葉縣市川市高谷	延長：12.1km		
事業概要：東京外かく環状道路（以下「外環道」）は、都心から約15kmの地域を環状に結ぶ延長約85kmの幹線道路である。外環道は、首都圏3環状の一部で、これらの環状道路を整備することで、都心部の慢性的な交通渋滞の緩和及び、環境改善への寄与等を図り、さらに、我が国の経済活動の中核にあたる首都圏の経済活動と暮らしを支える社会資本として、重要な役割を果たす道路となる。 外環道の一部である「千葉県区間」（以下、千葉外かん）は、周辺道路の交通混雑の緩和、生活道路への流入の排除等を目的とした12.1kmの一般国道である。			
S45年度事業化	S44年度都市計画決定 (H8年度変更)	S48年度用地着手	S53年度工事着手
全体事業費：約5,725億円		事業進捗率（平成31年3月末時点）：100%	供用済延長：12.1km
計画交通量：30,900～48,200台/日			
費用対効果分析結果	B/C（事業全体）：1.2	総費用（事業全体）：10,507億円 事業費：10,401億円 維持管理費：106億円	総便益（事業全体）：12,331億円 走行時間短縮便益：11,714億円 走行費用減少便益：595億円 交通事故減少便益：22億円
感度分析の結果：【事業全体】交通量：B/C=1.1～1.3（交通量±10%） 事業費：B/C=1.2～1.2（事業費±10%）			
事業の効果等			
①周辺道路の混雑緩和 <ul style="list-style-type: none"> ・市川、松戸市内の主要な一般道路の交差点43箇所において、交通量が約1割減少。 ・高越量が減少し、旅行速度が改善した結果、道路渋滞による損失時間が約2割減少。 ・市川、松戸市内の南北方向の一般道の通過時間が短縮し、地域の走行環境が改善。 ・特に市川松戸線の通過時間が最大で約4割短縮。 ・国道6号から京葉道路原木IC間では通過時間が最大で約3割短縮。 ②周辺道路の安全性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・市川市内の生活道路の交差点10箇所において交通量が約3割（1.4万台/日）減少し、生活道路の環境が改善。 ・生活道路の急ブレーキ回数が約5割減少し安全性が向上。 			
関係する地方公共団体等の意見			
一般国道298号 東京外かく環状道路（千葉県区間）は、国道6号や国道14号などの放射道路を相互に連絡し首都圏全体の道路ネットワークを形成するとともに、本県北西部の慢性的な交通渋滞の緩和や防災力の向上を図る上でも重要な道路です。 ついては、早期完成に向け事業を実施するとともに、コスト縮減を図るなど、効率的な事業推進に努められたい。			
事業評価監視委員会の意見			
事業の継続を承認する。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等			
事業の進捗状況、残事業の内容等			
・本事業は平成30年6月に全線開通。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等			
施設の構造や工法の変更等			
対応方針		事業継続	
対応方針決定の理由			

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。